



人の命や財産を脅かす火災



人の命を奪う交通事故

安全なくらしを守るために、どこで、どのような人たちが活動しているか話し合ってみましょう。



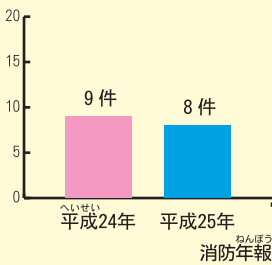
6 災害や事故からくらしを守る

わたしたちのくらしは、いつ起こるか分からない火事や事故などの危険に脅かされています。

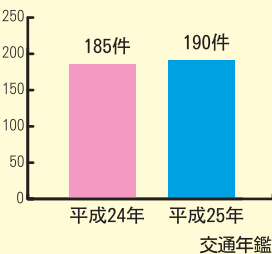
わたしたちの安全なくらしを守るためには、これらの危険から人々の命や財産を守る仕組みや働きが大切です。

そこで、消防署と警察署の仕事や、働く人々のようすについて調べ、災害や事故から人々の安全を守る仕組みや働きについて考えてみましょう。

宇美町の火災発生状況



宇美町の交通事故件数



(1) 火事からくらしを守る

宇美町では、毎年火事が起きています。火事は、わたしたちの大切な命や財産を奪います。宇美町では、火事が起こるとすぐに粕屋南部消防署から消防士が駆けつけ、怖い火事からわたしたちの命や財産を守る仕組みができています。

消防署の施設や仕組み、そこで働く人の仕事は、どれをとっても大変で重要なものばかりです。

火事について、見たり聞いたりしたことを話し合ってみましょう。



火災発生状況（粕屋南部消防組合）

町別火災発生状況(件)

宇美町	8
志免町	7
須恵町	6
粕屋町	8
篠栗町	11
久山町	5
合計	45

火災の内訳

火災の種類	件数
建物火災	36
車両火災	6
その他火災	3
林野火災	0
合計	45

おもな出火原因

順位	原因	件数
1位	放火の疑い	11
2位	こんろ	6
3位	火入れ	4
4位	放火	3

平成25年 消防年報



粕屋南部消防署で働く人

粕屋南部消防署で働く人は、いろんな服を着てるね。仕事によって違うのかな。





水を2000ℓ積んで初期の消火に威力を発揮します。

粕屋南部消防署の 消防車の種類



救急救命士が高度な応急処置を行います。



泡を出して油の火災に活躍します。



人命救助を行うための道具を積んでいます。



現場にいち早く着き、指揮をしたり調査したりします。



最新式のはしご車で、高さ40mまで伸び、リモコン操作で大量の水を自由に放水することができます。

かす や なん ぶ しょう ぼう しょ

① 粕屋南部消防署で働く人

粕屋南部消防署には、写真のように、いろいろな消防車がいいつでも出動できるように準備をしています。

119番の火事の通報があると、火事の種類に合わせた消防車が出動します。消防署の人は、素早く身じたくを整え、サイレンを鳴らしながら火事の現場にいち早く駆けつけます。

火事の現場では、家の中に取り残された人がいないか確かめてから、救助活動や消火活動をします。

粕屋南部消防署で働く人々の仕事の様子を調べ、工夫や努力について考えてみましょう。



通報から、どのくらいで出動するのかな？



はたら きん む
 粕屋南部消防署で働く人の勤務のようす

	日	月	火	水	木	金	土
第 1 中 隊	休み	24時間 仕 事	休み	休み	24時間 仕 事	休み	24時間 仕 事
第 2 中 隊	24時間 仕 事	休み	休み	24時間 仕 事	休み	8 時間 勤 務	休み
第 3 中 隊	休み	休み	24時間 仕 事	休み	休み	24時間 仕 事	休み

粕屋南部消防署の方の話

粕屋南部消防署では、3つの中隊に分かれています。毎日、3つの中隊が交代で、24時間の仕事をしています。朝、消防署へ来て、次の日の朝まで勤めています。朝、8時半になると、次の中隊と交代です。仕事は、消防車の点検・消防訓練・事務などです。食事中や睡眠中でも出動指令があれば、すぐに出動します。



夜中でも、わたしたちは、順番に起きていて出動に備えています。寝る時も、服を着たまま眠ります。



きゅうじょくくんれん
 救助訓練のようす



くんれん
 消火訓練のようす

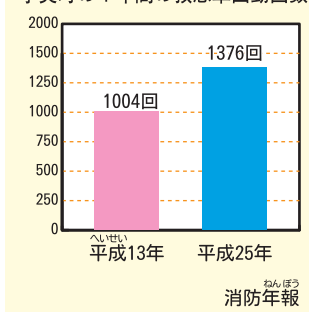
②もうひとつの119番

消防署には、消火活動だけでなく、救急車を出動させて、急病人やけが人を運ぶ救急活動があります。

粕屋南部消防署には、2台の救急車があります。多い日には、1日に22回も出動することがあるそうです。

119番通報を受けると、まず、場所や病気、けがの具合などを確かめます。次に、受け入れる病院を決め、無線を使って救急車と病院と連絡を取りながら、できるだけ早く、病院に運べるよう努力しています。

宇美町の1年間の救急車出動回数



どうして救急車の出動が増えたのかな？



通信司令室のようす



毎朝の点検活動のようす

③ 宇美町消防団の人々の働き

火事や災害に備える仕組みは、消防署の働きだけではありません。宇美町には、10の地域分団から構成される消防団という仕組みがあります。消防団に入っている人たちは、普段は、店や会社などで働いている地域の人です。火事の連絡を受けたり、サイレンの音を聞き付けたりすると、仕事をやめて消防車のある消防詰所に駆け込みます。日ごろも、自分の仕事が終わったあとに集まり、夜遅くまで訓練や地域のパトロールをしています。また、火事だけでなく、台風や洪水の時も、大雨の中で土のうを運ぶなど、災害防止や救助活動に努めています。

消防団の人たちはどんな仕事をしているのか話し合ってみましょう。



家の近くに、消防団の施設があるよ。夜遅くまで、訓練しているよ。大変そうだね。



宇美町消防会館



消防団出初式の様子

宇美町の消防団の構成図

宇美町消防団			
町長	団長	副団長	
本分団	辻荒木	第5分団	桜原、馬場、下宇美、林崎、浦田、大名坂
第1分団	上の原、障子岳、宇美東、山ノ内、飛岳1、飛岳2、飛岳3、	第6分団	炭焼1、炭焼2、炭焼3、炭焼4、大名坂、四王寺、末広、貴船
第2分団	福博中央、早見、四王寺坂3	第7分団	原田下、原田中央、原田上、明治町、仲山、四王寺坂2
第3分団	上宇美1、上宇美2、上宇美本通り、上河原	第9分団	鎌倉、福博鎌倉、新成、四王寺坂1
第4分団	井野、新井野、平成、ひばりが丘1、ひばりが丘2、ひばりが丘3、	第10分団	三原、黒穂、柳原、神山手

消防署の人たちが、素早く消火活動ができるための仕組みについて気づいたことを話しましょう。

④ 火事からくらしや命を守る仕組み

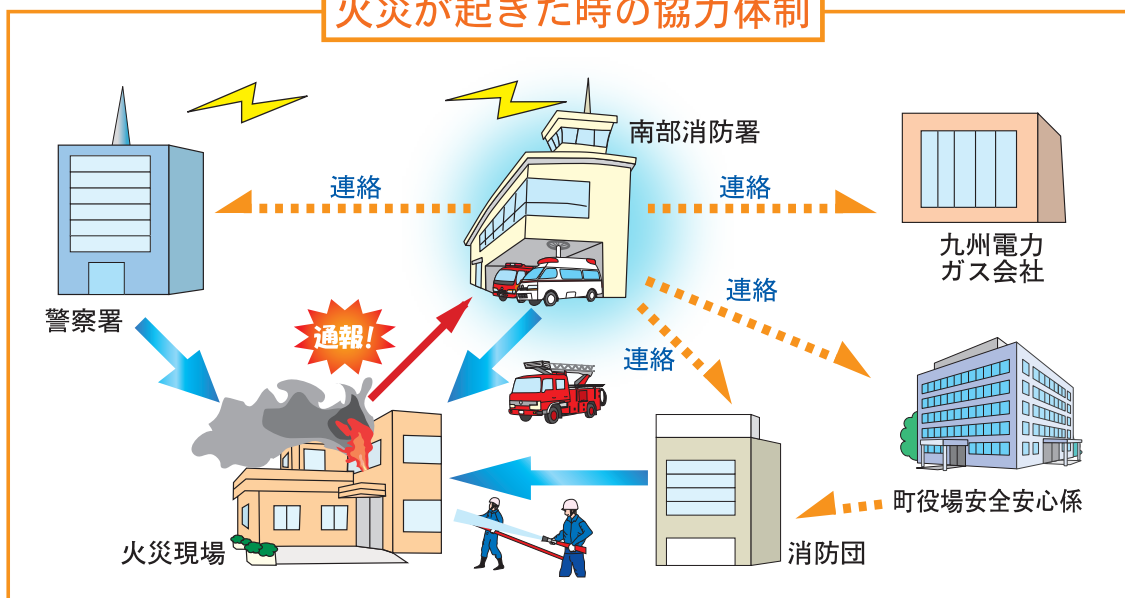
火事が起きたとき、消防署や消防団の人々が中心になって実際の消火活動にあたります。その他、警察署の人が素早い消火活動を助けるために交通整理をしたり、電力会社やガス会社が、安全に消火活動ができるように、電気やガスを止めたりして協力します。

このように、いつ起こるか分からない災害に対して、素早く対応できるように、消防署では、日ごろから、いろいろな施設と連絡を取り合っています。

いろいろな施設の人が、協力をしながら、火事を消しているんだね！



火災が起きた時の協力体制



⑤ 火事に備えて

さまざまな施設の連携に加えて、いつ、どこで、どのような火事が起こっても、素早く対応し、被害を最小限に食い止めるためには、わたしたちの身の回りにさまざまな備えが必要です。自分の家の中、学校の中、身の回りの地域にあるさまざまな施設や備えについて調べ、マップをつくってみました。

火事に備えて、家や学校や地域では、どんなことをしているか調べましょう。



ひなんゆうどうとう
避難誘導灯



地域コミュニティー消防センター



防火水そう



しょうかせん
消火栓

宇美東小学校区の消防施設マップ



消火器

しょうわ すいがい
昭和24年大水害のようす



きゅうじん む ばる ふ きん げん ざい なぎ ばる ほい く えん
旧神武原小学校付近(現在の柳原保育園付近)

すい がい (2) 水害からくらしを守る

これまでに宇美町(はつ せい)で発生した水害(すい がい)について調べてみましょう。



たいふう 台風

夏から秋の初めにかけて南洋の海上に発生して、強い暴風雨をともしない、洪水や山崩れなど、大きな被害をもたらします。

しょう わ ① 昭和24年のジュディス台風

宇美町は、1949年(しょう わ) (昭和24年) のジュディス台風(ひ かい)で大きな被害にあいました。

この台風で、8月16日に300～400mmの大雨(ふ ぼうまんざん さん)が降り、宝満山(たからみづのやま)や三郡山(さんぐんざん)で、100か所以上の山崩れ(いじょう やまくず お)が起こりました。大量の雨水(たいりょう)が大木や巨石(きよせき)を押し流しながら宇美川・仲山川(なかやまがわ)一帯を襲(おそ)いました。そのため、多くの家や橋が流されたり、田んぼが土砂(どしゃ)でおおわれたりしました。



②平成15年の豪雨災害

2003年（平成15年）の7月18日
夕方から19日朝にかけて、九州地方
を中心に激しい雨が降り続きました。

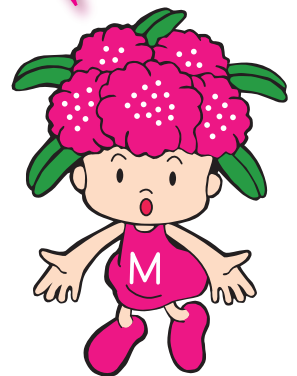
豪雨の影響は、宇美町全体におよび、
山間部では土石流や土砂崩れが発生し、
宇美川は氾濫し、流れた土砂や流木が
道路や家を直撃しました。

身の危険を感じた人々は公民館へ避
難し、多くの家が浸水や土砂災害にあ
いました。しかし、この豪雨の中で被
害を少しでも食い止めようとした人た
ちもいました。土砂とごみでうもれて
しまった地域を自分たちの手で元の姿
に戻した人もいました。

平成15年豪雨災害のようす



水害の被害について調べてみましょう。





③宇美町防災気象情報システム

宇美町に住む人々の安全を守るために、「宇美町防災情報システム」が設置されました。

町内各所に設置された雨量計、水位計、WEBカメラから、雨量、河川水位などの情報をインターネットで監視、公開するシステムです。

携帯電話から見ることもできるようになり、防災メールを申し込むことで、気象台からの警報、注意報や緊急情報がメールで届くようになりました。





④^{ち い き まも と}地域を守る取り組み

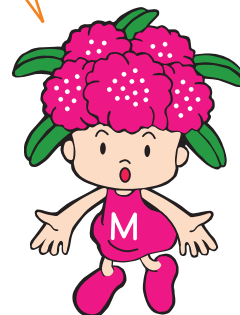
^{さい がい}災害のときには、^{しょうぼうしょ}消防署だけでは、
^{ひさいかしょたいおう}多くの被災箇所に対応することができ
ません。^{しょうぼうだん}地域の消防団も出動して、危
^{けん}険な場所の^{けい かい きゅうご}警戒や救援活動を行います。
^{じゅうみん}住民の安全を守るためには、地域のこ
とをよく知っている消防団と消防署が
^{れん けい}連携して^{かつ どう}活動することが大切です。

自分たちの地域を守るため、宇美
町・^{し め まち}志免町・^{す え まち}須恵町の消防団は、大水
害の^{けい けん}経験を^{かす や}生かして、毎年、粕屋南部
消防署との^{ぼう さい}合同防災訓練を行っています。
す。

わたしたちが^{ひ こ}日頃して
おくこと

- ・避難場所の確認
- ・非常食の確保 など

家族で話し合ってみま
しょう。





きげん
とても危険な交通事故

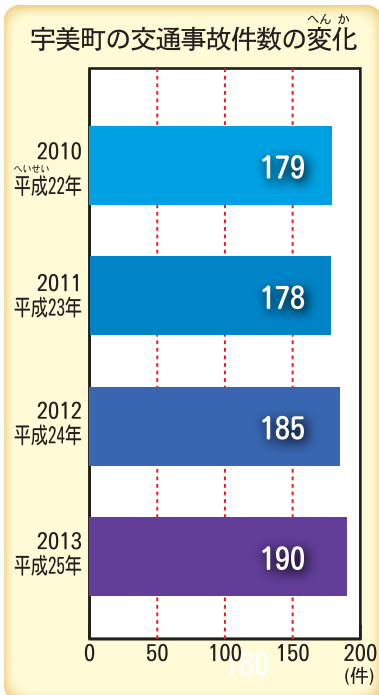
こうつうじこ まも
(3) 交通事故からくらしを守る

こうつうじこ
① 宇美町の交通事故

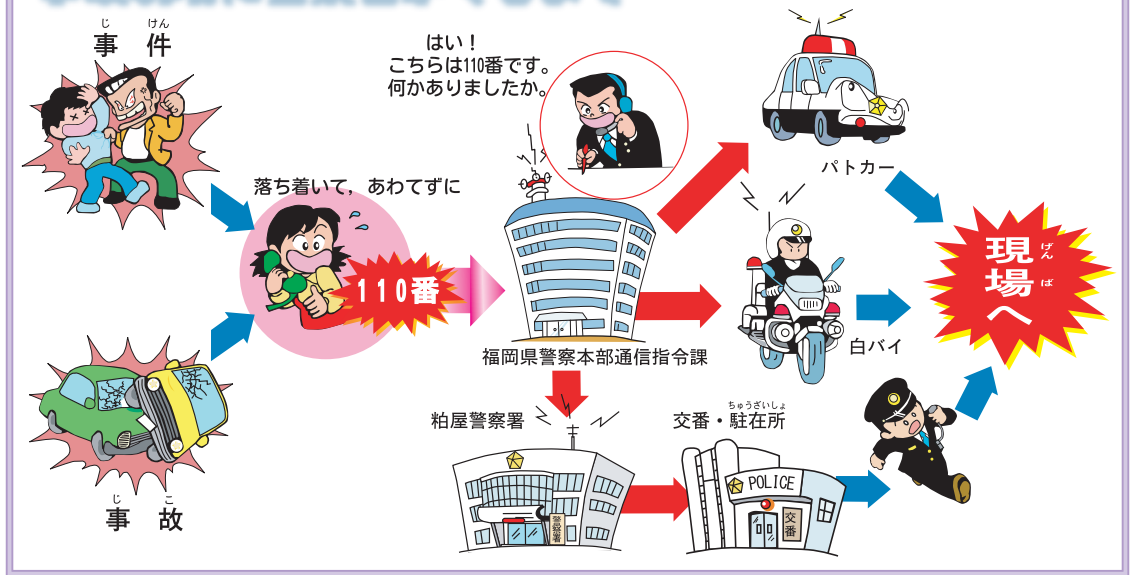
宇美町の交通事故件数は、年々少しずつ増加してきています。

大きなけがを伴い、ときには命をも落としかねない交通事故は、とても恐ろしいものです。

わたしたちの宇美町では、福岡県警をはじめ、粕屋警察署や町の交番で働く警察の人々が、交通事故からわたしたちのくらしを守るために、一生懸命に仕事をしています。



事故現場に警察官がくるまで

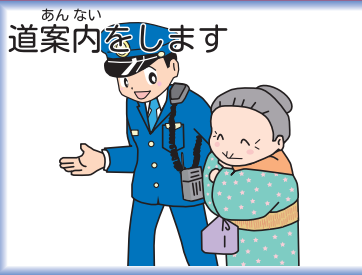


②交通事故が起きたら

宇美町で交通事故が起きて、電話で110番通報すると、福岡県警察本部の通信指令室につながります。そして、ただちに粕屋警察署に連絡され、けが人がいれば南部消防署にも伝えられます。このように、いくつかの機関が素早く連携をとりながら、宇美交番のお巡りさんや白バイ、パトカーの警察官、救急車の救命士などがいち早く現場に駆けつけ、けがした人を助けたり、交通整理をしたり、なぜ事故が起きたのかを調べたりします。

110番に電話すると、事故や事件に素早く対応するため、通信指令室の警察官から次のことをたずねられます。

- ①何がありましたか。
- ②場所はどこですか。
- ③いつのことですか。



③警察の人のさまざまな仕事

警察の人の仕事は、交通事故をなくす取り組みだけでなく、他にもたくさんあります。

宇美町を直接守る宇美交番の警察官は、朝9時から、次の日の朝9時まで24時間働いています。

宇美町全体を守るために、パトロールをしたり、みんなの家を訪問したりして、犯罪や交通事故を防ぐ仕事に日夜努力しています。

宇美交番だより

宇美交番だよりでは、身近な事件や事故の情報を詳しく知らせています。



登校ボランティアによる交通安全指導



小学校の交通安全教室



下校ボランティアによる交通安全指導

④ 交通事故を防ぐ取り組み

警察の人の仕事は、事故が起きた時の対応だけではありません。粕屋警察署の交通課では、わたしたちが交通事故にあわないように、「交通安全教室」を開いて、交通ルールを教えています。

また、他の機関やボランティアの方々と協力して、交通事故をなくすさまざまな活動に取り組んでいます。

- ① 信号機や歩道などを設置する。
- ② 交通違反の取り締まりをする。
- ③ 交通の仕組みをよくする。
- ④ マナー向上の講習会を開く。

交通事故を防ぐための取り組みについて調べてみましょう。



交通事故にあわないためには、教わった交通ルールや決まりを守ることが大切だね。

